

## 読書週間の取り組み紹介

田原市立若戸小学校

### 1. はじめに

本校は、愛知県の渥美半島の沿岸部に位置する全校児童75名の小規模校です。学校司書は、週に1日来校しています。月・水・金曜日の朝10分間は、朝の読書の時間として子どもたち自身が選んだ本を読む時間が設けられています。児童会活動には、4・5・6年生全員が取り組んでおり、図書委員会には、13名が所属しています。6月上旬をあじさい読書週間として、子どもたちが様々な本に触れることで、本に興味をもち、読書習慣を身に付ける期間を設けています。

### 2. 図書委員会によるあじさい読書特別企画

今年度は、「さがして、みつけて、本ビンゴ」と題し、ビンゴのマスに書かれているテーマの本を借りるとマスを埋めることができるビンゴカードを全校に配付しました。1行ビンゴすると、迷路や塗り絵などの景品をもらうことができました。また、読書週間中は、図書委員によるお楽しみコーナーを設けました。輪投げコーナーやクイズコーナー、パズルコーナーを設け、本を借りるとこれらのお楽しみコーナーに参加することができました。これらの図書委員会の活動により、子どもたちは、様々なジャンルの本を借り、本に親しむことができました。



### 3. 読み聞かせ

あじさい読書週間中に「出前読み聞かせ」が行われました。1・2・3年生の各教室で図書委員による読み聞かせが行われました。図書委員は、委員会の時間に読み聞かせの練習をし、当日に臨みました。低学年の子どもたちは、図書委員のお兄さんやお姉さんが読んでくれる本に夢中になり、読み聞かせの時間を楽しむ姿が見られました。4・5・6年生は、校長先生や教務主任の先生による読み聞かせが行われました。朝の読書タイムは、「黙って、静かに読む」ことを推奨していますが、出前読み聞かせでは、先生の問いかけやクイズに答えるなど、笑顔があふれる中での本に親しむ時間となりました。



また、学校図書館司書による読み聞かせも行われました。希望者が食堂に集まり、読み聞かせを楽しみました。縦割り班活動が盛んな本校では、他学年の児童と様々な活動に取り組んだり、休み時間に一緒に遊んだりしています。仲良しの他学年の児童と1冊の本と向き合い、物語を楽しむ時間は、子どもたちにとって特別な時間となりました。

### 4. おわりに

あじさい読書週間中の図書委員による特別企画や読み聞かせで、子どもたちは普段より本に親しむことができました。現在、図書委員や学校図書館司書を中心として図書館整備を行っており、図書館館内がますます魅力的な場所となっています。今後も、子どもたちが本に親しみ、生活がより豊かになるよう取り組んでいきたいと思ひます。